

## 進捗状況の概要

平成 27 年 11 月 30 日付けで COC+の採択を受けたことを踏まえ、補助事業に着手した。平成 27 年度における進捗状況の概要は次のとおり。

### I. 教育プログラムの改革

COC+大学である滋賀県立大学においては、近江楽士（地域学）副専攻への「アントレプレナーコース」の新設、当該新設を踏まえた同副専攻の既存科目の改編、および中期インターンシップの新設を中心とした地域教育プログラムの地元志向深化を進めた。

COC+参加校である 5 大学においては、滋賀県立大学が開講する「地域共生論」の共通化、「地域コミュニケーション論」の合同実施、中期インターンシップの実施をはじめ地元志向教育の実施に向けた準備を進めた。

### II. 地元就職率の向上

地元就職率の向上に向けては、地元中小企業への就職や女子学生の地元定着に重点を置き、近江楽士（地域学）副専攻「ソーシャル・アントレプレナーコース」への関連科目の設置や事業協働機関による推進体制の構築に取り組んだ。

### III. 雇用の創出

I Tを活用した雇用創出や課題解決型ビジネスによる雇用創出に関しては、近江楽士（地域学）副専攻の既存科目の再編を進めるとともに、雇用創出の検討に向けて事業協働機関による推進体制の構築に取り組んだ。また、一部大学においては、起業塾の開催や、金融機関との共催によるビジネスコンテストの次年度開催に向けた準備が進められた。

### IV. 全体

COCで構築した地域教育プログラムをCOC+を通じて地元志向深化を推進することを踏まえ、外部評価委員会も含めCOC+とCOCを一体的に評価し、FD/SD研修会をはじめとした改善も一体的に推進することとした。また、近江地域共育委員会を設立し事業協働機関の連携による事業推進体制を構築するとともに、ホームページの構築やCOC+キックオフ記念フォーラム開催などを通じたCOC+のPRにも努めた。